

名称	専門コース（スポーツ実務コース）		
総時間数	90 時間以上		
概要	主として全国大会レベル以上の競技実績があり、特定の競技において5年以上の指導経験を有する者を対象として、現代社会における多様化・複雑化したスポーツへの期待とニーズを分かり易く解説し、確かな理論や技能及び指導方法等を教授する役割を担う高度専門人材を養成することを目的とし、スポーツ実技担当の大学教職員に求められる理論と実技指導力及びスポーツ科学に関する基礎的能力の養成等を内容としたカリキュラムを提供するものである。		
定員	5人		
授業科目等	スポーツ実技実習	22.5 時間	必修（PBL）
	トレーニング基礎又はトレーニング演習（各2単位）	22.5 時間	3科目選択
	スポーツ法学（2単位）	22.5 時間	
	スポーツ医学B（2単位）	22.5 時間	
	スポーツ救急処置（2単位）	22.5 時間	
	運動・スポーツ生理学（2単位）	22.5 時間	
	バイオメカニクス（2単位）	22.5 時間	
履修資格	次の①～③の全てに該当する者 ① 「基本コース」を修了した者（見込みを含む。）又は既に「基本コース」と同等の科目を別途に履修したことをTEEP運営委員会が認定した者 ② 大学卒業程度の学力を有する者 ③ アスリートとして全国大会レベル以上の競技実績があり、特定の競技において5年以上の指導経験を有する者		
選考方法	オンラインによる面接		
内容	<p>〔PBL 演習〕</p> <p>必修となる PBL 演習（スポーツ実技実習）は実際の大学の講義を見学する内容が含まれており、参観予定の講義に合わせて日程を設定するため、毎週決まった曜日・時間に実施されません。日程は受講者に直接連絡します。また、指導の実践として模擬授業を行うため、講義の実施方法は学内での対面型で実施されます。</p> <p>〔選択科目〕</p> <p>選択科目は3科目の対面型と3科目のオンライン型の計6科目から3科目以上を選択します。全ての科目は毎週決まった曜日と時間に実施されます。自身のスケジュールや学習環境に合わせて受講する科目を選択できます。</p> <p>全て在学する学生とともに受講していただきます。</p>		
修了要件	次の①～③をすべて満たすこと。 ① 必修の PBL 演習を履修し所定のレポートを提出し、その提出したレポートが合格基準に達していること ② 選択科目を3科目以上履修し、単位修得していること		

	③ スポーツ科学部教授会が上記①および②を確認のうえ、修了を認めていること
--	---------------------------------------